

((( 弊社の燃料電池関連の出版物 )))

★2020年版 世界の燃料電池(Ⅰ)市場編 2020年6月刊/CD-ROM版 価格 185,000円(消費税別)

「2020年版 世界の燃料電池(Ⅰ)市場編」(近刊)はPEFC、SOFC、MCFC、DMFC、AFC、PAFC、水電解装置を中心とした日本以外の燃料電池産業の市場動向の概説、市場予測、車載用・定置用・ポータブルの各分野の現状と今後の方向性などをまとめた最新第6版。世界の燃料電池市場の最新動向を把握するのに最適な資料です。また「(Ⅱ)企業編」は約300社の燃料電池市場参入企業の最近の取り組みの現状をコンパクトにまとめたディレクトリーになっています。収録企業は、燃料電池システム、スタック開発、電解質膜・MEA、セパレータ、触媒、バランスオブプラント、改質器、熱交換器などのシステム・材料メーカーが中心です。詳しくは弊社Websiteをご覧ください。

★2020年版 世界の燃料電池(Ⅱ)企業編 2020年3月刊/CD-ROM版 価格 185,000円(消費税別)

欧米を主体にした海外の燃料電池の市場動向、参入企業の現状、用途別タイプ別にみた世界の燃料電池市場の最新動向を概観する「世界の燃料電池」の最新第6版(近刊)。燃料電池アプリケーションの開発は日本よりも欧米の方が活発で、バラード、プラグパワー、ハイドロジェニックス、SFC、セレスパワー、ソリッドパワー、フューエルセルエナジー、ブルームエナジーなどが定置用燃料電池だけでなく、バックアップ電源、フォークリフト用電源、バッテリー充電器、航空機、マリン、小型移動体など幅広い応用分野で燃料電池を実用化、商品化を進めている。(Ⅱ)企業編は主要企業の燃料電池関連企業ディレクトリとして、参入各社の燃料電池開発動向、開発製品、市場戦略等を個表形式で約300社、収録しました。詳しくは弊社Websiteをご覧ください。

★2019年版 中国の燃料電池(Ⅰ)市場編 2018年12月刊/ 本体価格 285,000円(消費税)

躍進する中国の燃料電池市場、特に燃料電池バス・商用車を中心に、水素エネルギー・燃料電池の産業政策、Ballardなどの海外燃料電池メーカーの中国進出状況、中国の燃料電池開発・サプライチェーンなどを概説した最新資料。

★2019年版 中国の燃料電池(Ⅱ)企業編 2019年2月刊/ 本体価格 285,000円(消費税)

中国の燃料電池市場参入メーカーを個票でまとめた最新資料。スタック開発、触媒、MEA、セパレータ、BOP、高圧水素タンク、燃料電池バス、燃料電池物流車、水素ステーションなど燃料電池・水素エネルギー関連企業約220社を収録。詳しくは弊社Websiteをご覧ください。

=====< 申込み用紙 >=====

<デジタルリサーチ行きオーダーフォーム>

FAX : 052-253-8685 / E-mail : endend@digital - research.co.jp

“FUEL CELL WEEKLY”の配信サービスを申込みます。

タイトル	体裁	本体価格	申込み口数
週刊燃料電池新聞 “ FUEL CELL WEEKLY ”	年間48回、電子メールで PDFファイル形式で配信します。	58,000円 (+消費税)	( )

(注「FUEL CELL WEEKLY」を社内の多数部署(本社と研究所等)で共有する場合、3口でお申込み下さい。)

会社名:	
住所: 〒	
電話:	FAX:
購入部署:	
担当者(ご氏名):	メールアドレス:

週刊燃料電池新聞「Fuel Cell Weekly」購読のご案内

編集・発刊：(有) デジタルリサーチ

▼ 国内外の燃料電池関連のニュースを毎週 PDF ファイルでメール配信。

▼ 年間48回配信するインターネット情報サービス。

▼ 年間購読料：58,000円+消費税。

弊社では毎日、内外の水素・燃料電池に関するさまざまな情報を収集しており、2007年からインターネットを使ったニュース配信サービス「燃料電池情報サービス (Fuel Cell Daily News)」(400号を配信済)、2009年5月から「週刊燃料電池新聞「Fuel Cell Weekly」」の配信を開始しました。2020年1月現在、515号まで配信しております。

週刊燃料電池「FUEL CELL WEEKLY」(No.515 2020.1.14)

デジタルリサーチ (燃料電池新聞)  
TEL: 052-221-6616 / mail: endend@digital-research.co.jp

- ★「FuelCellWeekly」価格改定のお知らせ 4
- ★中国燃料電池週報「FUEL CELL WEEKLY CHINA」発刊について 5
- 【国内情報】
  - ACトヨタ 中国でFCV中核部品を外販 7
  - P-理化学研究所「光をあてることで、水を分解して水素を発生させる新たな多孔性物質」を開発 8
  - P-東芝エネルギーシステムズ 敦賀市で再エネ水素ステーション「One ST Unit」を開発 8
  - P-東芝エネルギーシステムズ 水素燃料電池船に移動型水素燃料電池システムを導入 9
  - P-東京圏「ゼロエミッション東京圏」を策定 10
  - ACトヨタの中核部品、IMRA Conceptに関するインタビュー記事 11
  - NE-岩谷産業、2025年大阪万博会場と関西国際空港を結ぶ50~100人乗り燃料電池船建造を計画 12
  - P-トヨタ 東富士工場跡地に茨城県市「コグニティブ・シティ」建設プロジェクトを発表 12
  - NEいわき市の新常盤交通、2020年春に燃料電池バスを導入 13
  - AC-経済産業省、災害時の電源確保と災害対応能力の強化につながる電動車の普及支援を拡充 13
  - NE-東野ガス 独カール・テュングスの工業用都市ガス電機弁で水素対応性を確認 14
  - NE-東野ガス 水素燃料電池設備として簡易加熱式バーナーを開発 15
  - NE-東野ガスとリテックノ 小型向け水素バーナーを開発 15
  - P-愛知県 トヨタなど3社に水素燃料電池バスに搭載する新プロセスを開発 16
  - NE-鹿児島大学 電気化学セルでバイオガスから水素を製造する新プロセスを開発 17
  - P-アイルランドのロウバド、FCVから供給された電力を利用して水素エンジンを実現 17
- 【海外情報】
  - P-デンマーク Enerfuel、シェル製油所に大規模水素生産施設を建設(FCV2019.12.23号掲載) 18
  - NE-中国、再生可能エネルギー技術の研究開発に30億元(480億円)投資 18
  - NE-山西省大同市、水素エネルギー社会構築へ注力 19
  - P-中国初の水素・電力・石油・ガス融合エネルギーシステム「山西省長治市で稼働」 19
  - AC-次世代の輸送インフラを革新する「水素燃料」の巨大な可能性 20
  - AC「水素燃料」自動車で巻き返しを図る、米スタートアップ「ニコモーター」の挑戦 21
  - NE-国家電力投資と中国中車、筑路距離600km超の水素燃料電池路線バスを共同開発 21
  - P-独BMW、HyLAND イニシアティブを実施する16地域を決定 22
  - P-ベルギーリージェー空港、現代自動車のFCV(Nexo)を導入 23
  - N-ベルギー首都圏議会、ブリュッセル首都圏交通に水素燃料電池バス導入を要請 24
  - P-中国の武漢地産環境産業技術研究所等3団体、水素エネルギー産業の育成で協定 25
  - P-ウクライナの太陽光発電と組み合わせた水素ステーション構築 25
  - P-英 Wood Mackenzie、2030年までにグリーン水素のコストキャップは削減するとレポート 26
  - P-ハンガリー-GOLD Mobility、ハンガリー市場での水素燃料電池車の販売を目指す 26
  - P-英 Fuel Cell Systems、燃料電池小型航空機に水素を供給する水素燃料電池を開発 27
  - P-仏 SAFRA、オーセロワから30kW燃料電池を搭載したハイブリッドバス5台受注 28
  - P-韓国 Korea Gas Technology & JNK Heaters、水素産業インフラ整備を推進 29
  - P-京大・慶応大、グリーン水素をベースにしたグリーン輸送を実現するプロジェクト開始 29
  - P-米 FuelCell Energy、加州テュリア市の海水処理施設の2.8MW燃料電池システム商業運転開始 30

「FuelCellWeekly」の特徴

- ◆燃料電池、水素エネルギー関連のニュース記事を毎週まとめて配信しますので、日本や世界で発信されているニュース記事・各社のプレスリリースなどを毎週一括して読むことができ、毎日の情報収集にかかる手間が省略できます。また、内外の多岐にわたる情報整理にも便利です。
- ◆重複するニュースは取捨選択してひとつの記事に要約して配信しますので、エッセンスだけ読むことができます。
- ◆日本で発信されるニュース記事に関しては、弊社独自の追加取材を実施しますので、ニュース記事の信頼性が向上します。

「FuelCellWeekly」の内容

■情報収集の範囲

日本、アジア、欧米各国の水素、燃料電池政策動向、燃料電池自動車、定置用燃料電池、モバイル燃料電池、燃料電池部品や部材、水素製造・貯蔵・運搬・供給などの関連情報。

■情報収集のためのソースは以下の通り。

	媒体	概要
情報収集の範囲	日本語情報	日経産業新聞、日本経済新聞、日刊工業新聞、化学工業日報の4紙掲載のニュースを基本として、その他、Webで配信される各新聞社のニュース記事や解説記事も対象とする。ニュースリリースのリンク貼付け等
	英語情報	Fuel Cell Works で収集された記事を中心に、Reuters、Wall Street Journal など海外で発信される主要な Web ニュースをインターネットで収集するほか、全米燃料電池・水素エネルギー協会、米エネルギー省エネルギー効率・再生可能エネルギー局など無料ニュースレター、主要海外企業、政府、業界団体のプレスリリースなども収集する。 <b>*有料の専門ニュースレターは収集の範囲外です。</b>

◆日本語による新聞、インターネットニュースなどから情報を収集、取捨選択のうえ、弊社の独自取材を加味したオリジナル記事を作成します。海外情報に関しては、記事内容を簡単な要約紹介文(100~150字程度)にして、記事タイトルとリンクアドレス、参考記事のリンクアドレスを添付します。サンプル見本をご請求ください。

◆配信：毎週月曜日の夕方。月4回、年間48回配信します。

◆年間購読料金：(本体価格 58,000 円+消費税)

◆イントラネットや社内の多数部署で共有する場合は、3口のご契約をお願いします。

◆問合せ先：デジタルリサーチ (燃料電池新聞) TEL: 052-221-6616 担当：遠藤

「最近配信した FuelCellWeekly の記事」

週刊燃料電池「FUEL CELL WEEKLY」(No.517 2020.1.27)

【国内情報】

- N: FJ コンポジット、中国の自動車メーカーに燃料電池セパレーターを納入 (再掲) 6
- P: 丸紅、アブダビ・エネルギー庁と水素社会実現の覚書締結 6
- P: 経済産業省、狭小地への水素ステーション設置で新見解を回答 6
- P: 早稲田大学、低温で二酸化炭素を資源化する手法を発見 7
- P: 東芝エネルギーシステムズ、富山水素エネルギー促進協議会向け再エネ水素ステーション運転開始 8
- P: NEDO と東京都、水素エネルギーの普及促進に関する基本協定を締結 9
- N: 森村 SOFC テクノロジー、2021 年~2022 年メドに家庭用 SOFC 燃料電池の発売をめざす 9
- P: 堀場製作所の独子会社、バッテリー、燃料電池試験装置の生産能力を3倍に拡大 10

【海外情報】

- P: 米加州エネルギー委員会、エネルギー貯蔵技術と水素供給インフラの2分野に補助金 11
- P: 加 Renewable Hydrogen Canada、専用風力発電設備を持つ 60ton/日の水素製造工場を建設 12
- N: 米 Hyperion Motors、新型 FCV 開発中 12
- P: 独 MANN+HUMMEL、水素評議会 (Hydrogen Council) に加盟
- P: 水素評議会の報告書: 「再生可能水素の製造コストは 2030 年迄に競争力のある価格まで低下」 13
- P: スウェーデン Scania、ノルウェー ASKO に 90kW 燃料電池搭載の水素燃料電池トラック 4 台納入 14
- P: スウェーデン PowerCell、中国設立の子会社が新規顧客から初受注
- N: 韓国ガス公社、金海市に水素製造・水素ステーションを建設
- N: 仏オーヴェルニュ=ロワヌ=アルプ地域、水素ステーション 20ヶ所
- N: 欧 E4Tech の「Fuel Cell Industry Review 2019」を読み解く
- P: 独バーチャル研究所 KWK.NRW、KWK.NRW 4.0 CHP プロジェクト
- P: 中国の 16 組織、国家革新水素産業革新同盟を設立 18
- P: 蘭 Resato と Orange Gas、ドレンテ州で 6 基の水素ステーション開設
- P: マレーシアクチン市、3 台の水素燃料電池バスの運行サービスを開始
- P: ロシア Gazprom、メタン熱分解で天然ガスから水素製造技術を開発中
- N: 独・オルデンバーク市タクシー会社、FCV 3 台を導入 20
- P: 仏 McPhy、オランダ・デルフトに 20MW 水電解プラントを建設
- P: 独 Bosch、英 SOFC メーカー Ceres Power に追加出資 22
- P: 米 FuelCell Energy、新「Powerhouse」ビジネス戦略の詳細を公表
- P: 加 H2V Energies、ケベック州で年産 49 千 t の水素製造プラント建設
- P: 仏 ADEME、水素モビリティエコシステム推進プロジェクト公開
- P: ハンガリー技術・革新省、水素燃料電池を搭載した旅客輸送機を公開
- P: 欧 ShipFC コンソーシアム、船舶用アンモニア燃料電池を開発
- P: 韓 UNIST、バイオマス分解で得られたリグニンから水素を生成するバイオ燃料システムを開発 25
- P: 欧 LIFE ' N Grab HY!、燃料電池ごみ回収車の車両テストを開始
- P: 英 ITM Power と独 Linde、電解容量 10MW 以上の水電解装置の販売を行う合弁会社を設立 27
- P: 英 AFC Energy、EV 充電システム「H-PowerTM」商業化のため 100 万ポンドを調達 27
- P: 独 Clever Shuttle、現代自動車の FCV「Nexo」25 台をベルリンに導入 28
- P: 米エネルギー省、H2@scale イニシアティブに最大 64 百万ドル投資 28
- P: 豪カーティン大学、水添加で水素を放出する水素化ホウ素ナトリウム製造技術を開発 29
- P: 英 HyDeploy プロジェクト: キール大学区で水素 20% 注入の混合天然ガスの使用テストが進行中 29
- N: 独 Proton Motor Fuel Cell、ゴミ回収車に搭載する燃料電池システムを 5 ユニット受注 29
- P: 韓 KRRI、Horizon の水冷式 400kW 燃料電池パワートレインを搭載した燃料電池列車を製造 30
- N: 現代自動車、中国で燃料電池商用車生産を表明 31

週刊燃料電池「FUEL CELL WEEKLY」(No.516 2020.1.20)

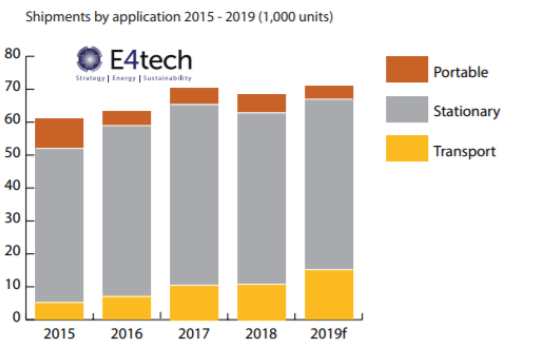
【国内情報】

- A: 物質・材料研究機構、磁気を使った冷凍技術で水素社会へ一歩前進 (JSTnews 2019.12) 7
- P: いすゞと Honda、燃料電池大型トラックの共同研究契約を締結 7
- P: 山梨大学と田中貴金属、燃料電池の劣化を大幅に抑制する白金・コバルト合金水素極触媒を開発 8
- P: 日本製鉄グループ、高圧水素用ステンレス鋼が東京ガス「豊洲水素ステーション」に採用 9
- P: 東京工業大学、廃棄グリセロールから DHA と水素の生産に成功 10
- N: FJ コンポジット、中国の自動車メーカーに燃料電池セパレーターを納入 11
- N: 清流パワーエナジー、高山市に水素ステーション開設 11
- N: JXTG エネルギー、東京五輪の大会車輻の FCV に水素燃料供給 12
- P: 欧州トヨタ、2020 年内に FCV「ミライ」次期モデルを欧州で発売 12
- P: 東京ガス、豊洲に水素ステーションを開設。燃料電池バスへの水素供給にも対応 14
- N: ボエック、水素ステーション向けに圧力水槽方式加圧送水装置の販路を開拓 14

【海外情報】

- A: スウェーデン、環境配慮ビジネスとして水素に注目 16
- A: 韓国、「水素経済活性化ロードマップ」発表後 1 年で FCV 世界販売 1 位 18
- P: 独 SAL Heavy Lift、FUELSAVE が開発した水素/メタノール注入技術を実船舶に導入 19
- P: 独 RVK、ケルン・ボン空港路線で燃料電池ハイブリッドバスを追加し、バス路線延長 20
- P: 豪シドニー大学、鋼材の粒界での水素の挙動の撮影に成功 20
- P: 米業界誌 Automotive News 記者による独 BMW 開発担当へのインタビュー記事 21
- P: 韓国標準科学研究所 (KRISS)、水素ステーションで充填水素を正確に計量できるシステムを開発 22
- P: 韓国斗山モビリティイノベーションと Microsoft、燃料電池ドローンのソフト開発と販売で協業 22

Shipments by application



Megawatts by application 2015 - 2019

